

向陽小 卒業記念花火を打ち上げ

3/18 向陽小学校



夜空に上がる花火を見上げる卒業生たち

向陽小学校卒業記念花火実行委員会（小山内金弥委員長）が卒業記念花火を打ち上げました。花火の打ち上げには市金融団や市商工会、市内の認定こども園などが協賛。打ち上げの前に行われたセレモニーでは卒業生一人一人が担任の先生にお花と感謝の言葉を伝えました。カウントダウンの掛け声とともに約60発の花火が打ち上がると、卒業生や保護者などから大きな歓声が沸きました。

小山内実行委員長は「コロナ禍で次々とイベントや活動が中止になった子どもたちのために、せめて卒業花火でお祝いしてあげたいという父母の皆さんの思いを実現できてよかった」と話しました。卒業生の石岡千奈さんは「きれいな花火で感動した。6年間の思い出がよみがえってきた」と笑顔で話しました。

チームなないろが子育て世帯を支援

ボランティア団体チームなないろ（川村沙織代表）が「食料品無料配布会」を開催。4回目の今回は、木造・森田・柏地区の小学校を通じてチラシを配布し、申し込みがあった45世帯に食料品や日用品などを無料配布しました。

食料品や日用品などは、県共同募金会の助成金を活用してチームなないろで購入したほか、つがるライオンズクラブ、市農産物直売所、市内外の寺院などが提供に協力しました。

木造地区から訪れたお母さんは「くちコミでこの活動のことを聞いていた。ティッシュなど日常で使うものをたくさんいただけて大変助かります」と笑顔。チームなないろ川村代表は「充実した中身になっているので、おうちで箱を開けて、どんなものが入っているか楽しんでもらいたい。今後も配布会を開催していくので、多くの人に遠慮なく利用してほしい」と意欲をのぞかせていました。

3/20 育実幼稚園



食料品や日用品を受け取る親子

遠隔手話サービスが開始

3/23 市役所



タブレットで遠隔手話サービスの使い方を確認する参加者たち

市では、ろう者を対象にスマートフォンやタブレット端末を活用した遠隔手話サービスを開始しました。これまで、ろう者は市への相談や確認などがある場合、市役所の窓口へ直接出向き、手話通訳者を介して会話する必要がありました。そこで福祉課に遠隔手話用のタブレットを配置し、ろう者が自宅などに居ながらインターネット通信で手話通訳専門員と意思疎通ができる体制を整備しました。スマートフォンやタブレットを持っていない方には市のタブレットの貸し出しも行っていきます。

この日、遠隔手話サービスの説明会を開催し、ろう者とその家族、手話通訳者などが利用方法などを確認しました。参加した西北五ろうあ協会の成田明子事務局長は「これまでメールでやり取りしていたが、文章が苦手な人もいます。直接手話で会話できると便利」と期待しました。

車力分屯基地に藤井司令が着任

3月19日、航空自衛隊第6高射群第21高射隊長兼車力分屯基地司令に藤井貫志2等空佐が着任しました。藤井司令は岐阜県出身。前任地は東京・市ヶ谷の航空幕僚監部防衛部防衛課。車力分屯基地の第25代司令として隊員たちを指揮します。

この日、市役所を訪れた藤井司令は「つがる市での生活を楽しみにしている。地域との交流を深めていきたい」と話し、倉光市長は「地域と良好な関係を築いてほしい」と話しました。

離任した根岸大輔2等空佐は、航空幕僚監部（新宿区）へ赴任しました。



3/28 市役所

倉光市長と握手を交わす藤井司令(右)

本市で3人目の新規就農研修生に認定



3/29 松の館

新岡会長(左)から認定書を受け取る木村さん(右)

農業技術および経営ノウハウを習得する農業研修を行い、農業の担い手の育成に取り組むつがる市就農研修生受入協議会（新岡亮会長）は、本市で3人目の新規就農研修生を認定しました。

認定されたのは平川市出身の木村悟さん。本市に移住し2年間、稲垣地区の黒滝農園などで農業を学びます。木村さんは農業を志したきっかけを「知人が楽しそうに農業の話をしているのを聞いているうちに、やってみたいと思った」と話し、「冬でもできる作物を模索し、年中通して農業をやりたい」と意気込んでいました。

新岡会長は「2年間の研修の中で自分に向いているものを探して、独り立ちできるようにがんばってほしい。当協議会でもしっかりバックアップしていきたい」と話しました。

しゃりき温泉の指定管理者に「グッドスタッフ」

(株)グッドスタッフ（日野源男代表取締役）がウエルネスセンターしゃりき温泉の指定管理者になりました。同社は熊本市に本社を置き、全国で直売所や温泉施設などを管理・運営しています。

3月31日、しゃりき温泉で安全祈願祭が行われ、日野代表取締役は「民間ならではのアイデアで新たなサービスにつなげたい。地元で愛される温泉にしたい」と抱負を話しました。今後は、全国のグルメを紹介するフェアなどを開催していくそうです。

この日、しゃりき温泉には常連客などが次々と訪れていました。毎日のように利用しているという車力地区に住む工藤清泰さんは「イベントやフェアで、にぎやかな温泉になって、この地域もにぎやかになってほしい」と話しました。



4/1 しゃりき温泉

4/1～4/3は各日先着100人に熊本の特産品「パール柑」などをプレゼント